

2030年のAI覇権：米中激突の最前線

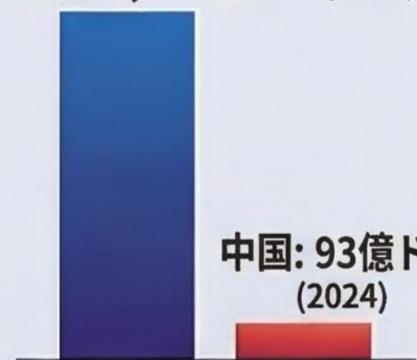
米国と中国によるAI覇権争いの現状を比較し、2030年に向けた両国の強み、課題、そして予測される「二極化」の未来を視覚的に伝える。

民間主導の革新（米）

投資額では米国が10倍以上の圧倒的リード



米国: 1,091億ドル (2024)



中国: 93億ドル (2024)

米国 中国



先進的AIモデル数 (2024)
40モデル



AIユニコーン企業数 (2025)
約160社



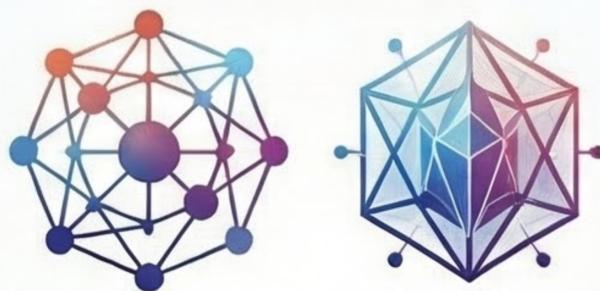
米国の最大課題は「電力インフラ」の脆弱性

AI最要で米国の電力需は限界に近く、安価な電力を供給する中国が有利との見方も。

2030

到来する「AI主権」と二極化の時代

米中への依存を避け自国でAIを管理する動きが広がり、世界は新たな秩序へ。

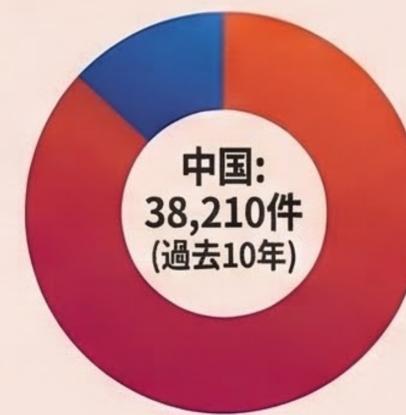


数字で見る米中の実力比較

指標	中国	米国
先進的AIモデル数 (2024)	15モデル	40モデル
AIユニコーン企業数 (2025)	70-75社	約160社
トップAI論文著者数 (2024)	8,491人	14,766人

国家主導の「AI+」（中）

生成AI特許数は中国が世界の約7割を独占



中国:
38,210件
(過去10年)

中国:
38,210件
(過去10年)
米国:
6,276件
(過去10年)



研究の「質」でも中国が米国を逆転
引用数トップ10%の重要建文数において、中国は既に米国を上回っている。



トップAI論文著者数 (2024)

中国 米国

安価な電力供給

安価なエネルギー、リリーン燃料を守ることをにより、中国は既に米国を供給する安価な電力が供給。

